

MC-Media Pad™

サニ太くん®/Sanita-kun

Q&A

詳しいお問合せとご注文は

TEL:043-306-1531 FAX:043-306-1541

MC-Media Pad
サニ太くんの
オススメポイント
を紹介します



Q: 低コストってホント？

A: はい、総合的に大幅なコスト削減になります。しかもエコ！

培地自体は1枚が80円~ですが、粉末培地に必要なシャーレが不要。また、薄いシートですから、培養・作業・保管スペースがすべて10分の1、廃棄量も20分の1に激減。小型化で、器具・設備コストと産廃コストを低減できます。なによりも、培地調製の手間(通常3~4時間)を省略できるので、人件費を圧倒的に抑えられます。また外部委託とは比べ、自社で結果が得られるので、時間リスクも減ります。

Q: 簡単にできるの？

A: はい、とても手間いらずで、しかも簡単に判定できます。

従来の微生物試験には、無菌操作や培地作製などのテクニックのほかに、培地上のコロニーを観察する上での知識や経験を持つ技術者が必要でした。でも、MC-Media Pad ならわかりやすい発色コロニーですから、簡単にカウント・試験報告ができます。(微生物試験ですので最低限のトレーニングはもちろん必要です)もし判りにくい場合でも簡単にデジカメ撮影できてメーカーに相談できるので安心です。

Q: 性能は信頼できるの？

A: はい、世界的なAOACや MicroVal の性能認証済み。学会報告などでも確かな信頼を得ています。

AOACとは世界的な食品試験法の妥当性検証機関です。微生物や理化学など数多くの試験法がAOAC公定法として認められ、世界中の公的機関で採用されています。このAOACの研究所が、日本製品として初めて性能認証したのが、MC-Media Pad サニ太くん一般生菌用です。今では大腸菌群用、大腸菌/大腸菌群用、真菌用、黄色ブドウ球菌用も性能認証されています。

たとえば一般生菌の菌数定量試験(48時間)では、従来の試験法との相関係数が約97%以上ですから、とても信頼できる試験法といえるでしょう。不安ならば時々外部試験機関に委託して比較するのも良い方法です。

Q: スタンプ式やフィルター、落下菌の試験も可能なの？

A: はい、MC-Media Pad はすべてできます。

全体はシート状でしかも培地表面は不織布です。まな板など平たい部分だけでなく、蛇口や取っ手などの曲った部分でも、拭取るようにして表面の細菌を収集できるので、スタンプ式以上の試験が可能です。このほかメンブランフィルターや落下菌の測定など、いろいろな試験がこれ1枚で可能なのも大きな特長です。釣菌や塗沫といった微生物試験での必須テクニックもOK。不織布+水溶性ポリマーの二重構造が、優れたコロニー拡散/保持能力を MC-Media Pad にもたらししました。

Q: 長持ちで経済的？

A: はい、製造後の有効期限が2~3年でロングライフ。(新規製品群も順次延長中)

培地内部は乾式フィルムですのでとても安定的で長持ち。しかも3カ月程度なら室温での保管も可能です(25枚袋を開封した場合は冷蔵庫内で1カ月)。完全冷蔵で短寿命の寒天生培地と比べて冷蔵スペースも小さく、たくさんご購入いただいても大丈夫。より経済的な購入プランが可能です。

Q: 試してみたいけど、どうしたらいい？

A: はい、プラクティカルにご相談ください。

MC-Media Pad の開発当初からメーカーさんと一緒にマーケティングや学会活動をしてきました。気軽に相談いただけて、しかも丁寧に対応させていただきます。まずはサンプル請求を！